

1 単元名 Unit 8 イギリスの本 (New Horizon English Course 1)

2 指導目標

- ・疑問詞や目的格代名詞を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・標準的な発音で、教科書本文を暗唱したり、身近な話題について相手に質問したり、質問を受けて自分の考えを伝えたりすることができる。
 (外国語表現の能力)
- ・疑問詞や人称代名詞が使われた英文を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。
 (外国語理解の能力)
- ・疑問詞 where, whose, 目的格代名詞 him, her の意味, 用法に関する知識を身に付けている。
 (言語や文化に関する知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 単元観

本単元では、主人公の中学生たちがイギリスの本についてクラスで発表することになり、インターネット電話を使ってイギリス人に相談することが題材として扱われている。言語材料は where, whose の疑問詞と him, her の目的格代名詞である。これらの表現を用いて、場所や持ち主を尋ねたり、第三者について対話を続けたりすることが目標である。また、英語の子音とリズムを意識させた音声指導を行い、標準的な発音を身に付けさせたい。

(2) 生徒の実態 (第1学年*組 男子*人 女子*人 計*人)

課題：教科書本文を音読しなさい。① have ② really ③ three ④ Do you have a picture?
 ⑤ My parents have some rabbits in Boston.

結果：(生徒の発音を ALT 二人と JTE 一人が評価)

- ① 正しい発声方法で発音できた生徒の数 *人 できなかった生徒の数 *人
- ② 正しい発声方法で発音できた生徒の数 *人 できなかった生徒の数 *人
- ③ 正しい発生方法で発音できた生徒の数 *人 できなかった生徒の数 *人
- ④ 英語特有のリズムで英文を読めた生徒の数 *人 読めなかった生徒の数 *人
- ⑤ 英語特有のリズムで英文を読めた生徒の数 *人 読めなかった生徒の数 *人

(3) 指導観

標準的な発音を身に付けさせ、本単元で学習する言語材料を実際のコミュニケーションの場面で活用させたいと考える。そのために、英語の子音とリズムを意識させた段階的な音声指導を行う。まず、子音の発音と英語特有のリズムを意識させるための「音トレーニング」を帯活動として行う。次に、一定のリズムに合わせて教科書本文を読ませることで、意味の区切り、文の強弱やイントネーションを体感させる「リズムミック音読」を行う。そして、標準的な発音で教科書の本文を暗唱できているかを評価する「ぐるぐるテスト」を行う。この活動は、生徒が発した英文を評価・修正する連続的かつ反復的な個別面接テストである。さらに、この「ぐるぐるテスト」の最後に、標準的な発音で教師と2往復の対話を行う。その内容は、身近な話題と単元の内容についてである。これらの音声指導を通して、標準的な発音で、本単元の言語材料を用いたやりとりができるようにする。

4 指導と評価の計画（6時間扱い）

時	学習の内容	評価規準	評価計画			
			関	表	理	言
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ [θ], [ð]の音トレーニングを行う。 ・ Part 1 の新出単語を理解する。 ・ 疑問詞 where を使って場所を尋ねる。 ・ 前置詞を使って場所を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準的な発音で、疑問詞 where や場所を表す前置詞を使って教師と対話することができる。 	○			○
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ [f], [v]の音トレーニングを行う。 ・ Part 2 の新出単語を理解する。 ・ 疑問詞 whose を使って持ち主を尋ねる。 ・ 所有代名詞を使って持ち主を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準的な発音で、疑問詞 whose や所有代名詞を使って教師と対話することができる。 	○			○
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ [l], [r]の音トレーニングを行う。 ・ Part 3 の新出単語を理解する。 ・ 目的格代名詞を使って話題に出た人について質問したり説明したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準的な発音で、目的格代名詞を使って教師と対話することができる。 	○			○
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ [θ], [ð]の音トレーニングを行う。 ・ Part 1 の本文内容を理解する。 ・ Part 1 の本文を一定のリズムで音読する。 ・ Part 1 の本文を暗唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準的な発音と英語特有のリズムで、Part 1 の本文を暗唱することができる。 ・ 標準的な発音と英語特有のリズムで、既習文法を用いながら教師と対話することができる。 	○	○		
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ [f], [v]の音トレーニングを行う。 ・ Part 2 の本文内容を理解する。 ・ Part 2 の本文を一定のリズムで音読する。 ・ Part 2 の本文を暗唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準的な発音と英語特有のリズムで、Part 2 の本文を暗唱することができる。 ・ 標準的な発音と英語特有のリズムで、既習文法を用いながら教師と対話することができる。 	○	○		
6 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・ [l], [r]の音トレーニングを行う。 ・ Part 3 の本文内容を理解する。 ・ Part 3 の本文を一定のリズムで音読する。 ・ Part 3 の本文を暗唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準的な発音と英語特有のリズムで、Part 3 の本文を暗唱することができる。 ・ 標準的な発音と英語特有のリズムで、既習文法を用いながら教師と対話することができる。 	○	○		

5 本時の活動

(1) 目標

- 標準的な発音と英語特有のリズムで、Part 3の本文を暗唱することができる。
- 標準的な発音と英語特有のリズムで、既習文法を用いながら教師と対話することができる。

(2) 準備・資料

- ・ワークシートの冊子、大型モニター、パソコン、オーディオプレーヤー、ヘッドホン

(3) 展開

評は評価 ○は個への対応

時間	活動内容	教師の支援と評価
5	1 音トレーニングを行う。 [l], [r]の正しい発音の仕方を確認して練習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・側音のlは、舌を歯茎の裏につけ、舌の両端から息を出して発音することに注意を促す。 ・足踏みや手拍子など一定の動作を繰り返しながら英文を読ませることで、生徒が英語のリズムを体得できるように促す。
5	2 本時の学習内容と目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">正しい発声方法と英語特有のリズムで、Part 3の本文を暗唱したり、先生と対話したりしよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した[θ], [ð]の発音の仕方や強勢の置き方について見本を示す。
10	3 本文の内容を理解する。 教師の質問に英語で答える。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を別の表現で言い換えたり、本文の内容について質問したりすることで、本文の理解を深める。
10	4 リズミック音読をする。 一定のビートに合わせて教科書本文を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞、動詞、形容詞などの内容語に強勢を置いて強く発音することを意識させる。 ○like himのhの音が脱落していることを確認する。 ○very[v], famous[f]の正しい発声方法を確認する。
20	5 クラスを二分割して以下の活動を行い、10分後に活動を交換する。 (クラスの半分)ぐるぐるテストをする。 生徒は輪になり、教師がその内側を回る。 生徒は教師が前に来たら英文を暗唱する。 標準的な発音で暗唱できなかった場合は不合格となり、もう一度教師が回って来るまで同じ文を練習する。全ての英文を合格できたら、Unit 8で学習した言語材料で教師と対話したり、Part 3の内容に関する質問に答えたりする。 (クラスのもう半分)Loud Speaker をする。 オーディオプレーヤーからの英語をシャドウイングして、グループの他の人がその話された英語を書き取る。	<ul style="list-style-type: none"> 評[l], [r], [θ], [ð], [f], [v]を正しい発声方法で発音し、一定のリズムで英文を暗唱することができる。 評標準的な発音で、教師と対話することができる。 ○複数形の名詞の発音方法、疑問詞疑問文の語尾は下げ調子で発音することを確認させる。 ○教師の質問にYesかNoで答えるときは、Yes, Noだけでなく、Yes, he does.まで答えさせる。 ・語と語の連結による音の変化やイントネーションに注意してシャドウイングさせる。 ・ネイティブのスピードについていけない時は1文ごとに間があるトラックに挑戦させる。
5	6 英語の歌を歌う。Daydream Believer	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌を歌うことを通して、英語らしい発音とリズムを習得したいという意欲を高める。

英語の意味順を意識して読もう！
誰/～です・する/何を/どのように/どこで/いつ

注意する発音
r, l, v, f, th の5つ

Unit8-3

意識するリズム
4拍子！(そんなのかんけいね～)

知っているかたずねよう

Japanese		English
1	ですか/あなた/知っている/何か他に良い本	Do you know any <u>o</u> ther <u>g</u> ood <u>b</u> ooks?
		ノウ エニ アザー
2	どうですか/ピーターラビットの物語	How about The <u>T</u> ale of <u>P</u> eter <u>R</u> abbit?
		テイル
3	それです/わんぱくなうさぎの物語	It's a <u>s</u> tory of a <u>n</u> aughty <u>r</u> abbit.
		ストーリ ノーティ
4	おお/私/知っている/ピーターラビット 私/好き/彼を/とても	<u>O</u> h, <u>I</u> know <u>P</u> eter <u>R</u> abbit. I <u>l</u> ike him <u>v</u> ery <u>m</u> uch.
		ヒム
5	その作者/ベアトリクスポッターです ですか/あなた/知っている/彼女について	The <u>w</u> riter is <u>B</u> eatrix <u>P</u> otter. Do you know about <u>h</u> er?
		ライター ベアトリクス ポッター ハ
6	いいえ/私/知りません	<u>N</u> o, I <u>d</u> on't.
7	彼女/とても有名です/イギリスで	She's <u>v</u> ery <u>f</u> amous in the <u>U</u> . <u>K</u> .
		シーズ フェイマス デイ
8	わたしたち/大好き/彼女の本の中にある自然や動物	We love the <u>n</u> ature and <u>a</u> nimals <u>i</u> n her <u>b</u> ooks.
		ネイチャ ハ
9		
10		

英語の意味順を意識して読もう！
誰/~です・する/何を/どのように/どこで/いつ

注意する発音
r, l, v, f, th の5つ

Unit 8-1, 2

意識するリズム
4拍子！(そんなのかんけいね〜)

どこにあるかたずねよう/だれのものかをたずねよう

	Japanese	English
1	おお/私/遅れている どこですか/私の辞書	<u>Oh</u> , <u>I</u> 'm <u>late</u> ! <u>Where's</u> my <u>dictionary</u> ? レイト ウエズ ディクショナリー
2	それです/その本の下	It's <u>under</u> the <u>books</u> . イツ アンダ
3	どこですか/私の消しゴム それです/そのコンピューターのそば	<u>Where's</u> my <u>eraser</u> ? It's <u>by</u> the <u>computer</u> . ウエズ イレイサ パイ
4	どこ/ですか/私のえんぴつ それらです/あなたのポケットの中	<u>Where</u> <u>are</u> my <u>pencils</u> ? They're <u>in</u> your <u>pocket</u> . ウエア ペンソーズ ゼア
5	コウタ/あなたは/遅れている すいません	<u>Kota</u> , <u>you're</u> <u>late</u> . <u>I</u> 'm <u>sorry</u> .
6	はい/ジェーン 見て ですか/あなた/知っている/この本	<u>Hi</u> , <u>Jane</u> . <u>Look</u> . Do you <u>know</u> this <u>book</u> ? ルック ノウ
7	おお/あれです/ハリーポッター ですか/それ/あなたのもの	<u>Oh</u> , <u>that's</u> <u>Harry Potter</u> . Is <u>it</u> <u>yours</u> ? ザッツ ユアズ
8	はい/それ/わたしのもの 私/好き/この本	<u>Yes</u> , it's <u>mine</u> . I <u>like</u> this <u>book</u> . マイン
9	私/好き/あの本/ウィニーザプー	<u>I</u> like <u>that</u> one, <u>Winnie-the-Pooh</u> . ザット ワン ウイニー ザ プー
10	だれの本/ですか/あれは それ/サキのです	<u>Whose</u> <u>book</u> is <u>that</u> ? <u>It's</u> <u>Saki's</u> . フーズ サキズ